

# 横浜市感染症発生動向調査報告 6月

## 《今月のトピックス》

- A型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- 咽頭結膜熱の報告が多い状態が続いています。
- RSウイルス感染症の報告が、やや増加傾向にあります。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈6月期に報告された全数把握疾患〉

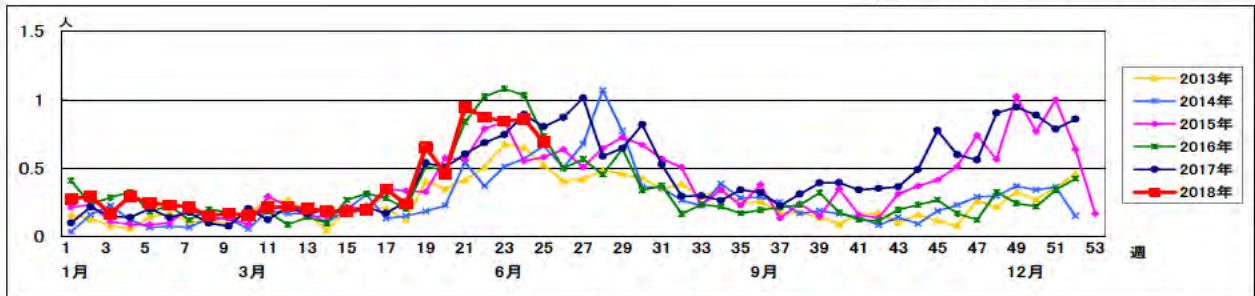
腸管出血性大腸菌感染症	19件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
A型肝炎	4件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	3件
レジオネラ症	3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
アメーバ赤痢	5件	侵襲性肺炎球菌感染症	12件
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1件	水痘(入院例に限る)	2件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	12件	梅毒	17件
急性脳炎	1件	百日咳	17件

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157の報告が18件、O26の報告が1件ありました。O157では同一集団内での報告がありました。
- 2 A型肝炎: いずれも国内での感染と推定され、経口感染が3件、感染経路不明が1件でした。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型の報告が3件あり、感染経路不明です。
- 4 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が5件あり、うち、ベトナムでの経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が4件でした。
- 5 ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く): 感染経路不明のCMVの報告が1件ありました。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 12件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 7 急性脳炎: 小児の報告が1件あり、病原体は不明です。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): AIDSの報告が2件、無症状病原体保有者の報告が1件あり、いずれも男性で、性的接触(同性間2件、異性間1件)による感染でした。
- 10 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 幼児(ワクチン接種歴4回)および70歳代(ワクチン接種歴不明)の報告が1件ずつありました。
- 11 侵襲性肺炎球菌感染症: 幼児で2件(いずれもワクチン接種歴4回)、30歳代および40歳代で5件(ワクチン接種歴なし4件、不明1件)、60歳以上で5件(ワクチン接種歴あり1件、なし1件、不明3件)の報告がありました。
- 12 水痘(入院例に限る): 検査診断例1件(40歳代)、臨床診断例1件(小児)の報告がありました。
- 13 梅毒: 17件の報告(無症状病原体保有者5件、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期5件)がありました。14件は国内での感染、3件は感染地域不明です。男性13件、女性4件でした。感染経路は、異性間の性的接触が15件、同性間の性的接触が1件、不明が1件です。
- 14 百日咳: 10歳未満では、新生児・乳児で3件(ワクチン接種歴なし)、小児で3件(ワクチン接種歴4回)の報告があり、10歳代で2件(ワクチン接種歴4回が1件、4回+追加接種1回が1件)、20歳代で3件(ワクチン接種歴不明)、30歳代で4件(ワクチン接種1回が1件、不明が3件)、40歳代で1件(ワクチン接種歴不明)、60歳代で1件(ワクチン接種歴なし)の報告がありました。

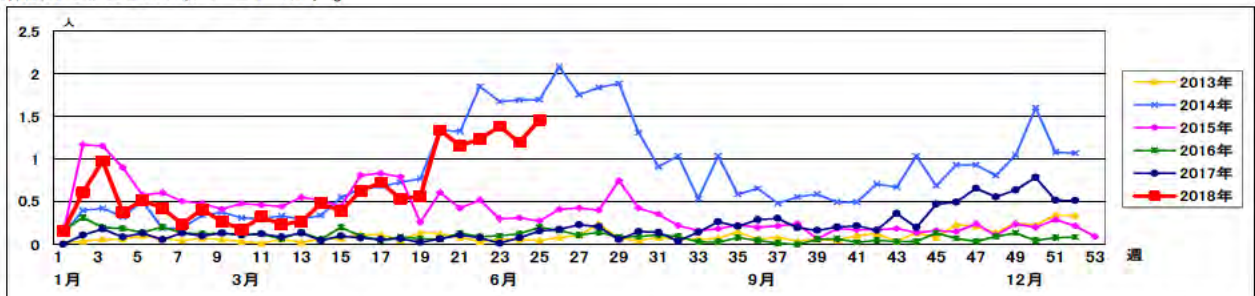
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第21週	5月21日～5月27日
第22週	5月28日～6月 3日
第23週	6月 4日～6月10日
第24週	6月11日～6月17日
第25週	6月18日～6月24日

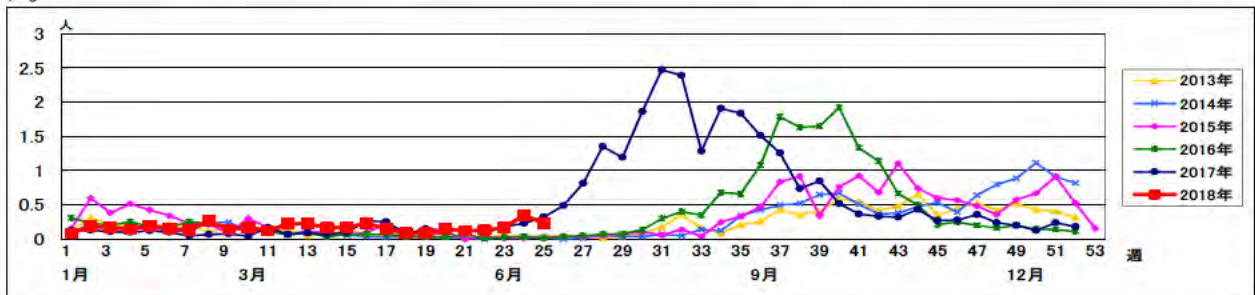
- 1 咽頭結膜熱:第19週より増加傾向となっています。今後、夏季に向けて高値で推移するものと思われます。第25週では定点あたり0.69となっています。



- 2 伝染性紅斑:2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第25週では定点あたり1.46となっています。



- 3 RSウイルス感染症:第23週で定点あたり0.17、第24週で定点あたり0.35、第25週は0.23と、やや増加傾向にあります。2017年が例年と比べて流行が早かったため、今シーズンも動向を注視する必要があります。



4 性感染症(5月)

性器クラミジア感染症	男性:31件	女性:26件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:5件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性: 4件	女性: 2件	淋菌感染症	男性:8件	女性: 2件

5 基幹定点週報

	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(5月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件		—

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

6月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点50件、内科定点14件、眼科定点3件、基幹定点10件でした。

7月10日現在、ウイルス分離7株と各種ウイルス遺伝子27件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(6月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *1	ア デ ノ 感 染 症 *2	麻 疹 疑 い	り ん ご 病	急 性 脳 症	R S ウ イ ル ス 感 染 症
インフルエンザ AH1N1pdm09型			1					
インフルエンザ AH3型			3					
アデノ 1型					1			
アデノ 2型	1			1				
アデノ 型未同定				3				
パラインフルエンザ 3型				1				
ヘルペス 7型							1	
ヒトパルボ B19						1		
ヒトメタニューモ	2	3	1					
RS	1	1						3
ライノ	4	3		1				
ヒトボカ		1						
エコー 6型	1							
合計	1 8	1 8	4 1	1 5	1	1	1	3

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

\*1:疑いを含む、\*2:咽頭結膜熱を含む

## 〈細菌検査〉

「菌株同定」の主な依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌が5件、肺炎球菌が1件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌が1件ありました。保健所からは、結核菌47件、腸管出血性大腸菌12件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌12件、肺炎球菌2件、劇症型溶血性レンサ球菌、インフルエンザ菌が各1件となっています。

「分離同定」の検査は、基幹定点からボレリアが5件、マラリアが1件、非定点からレプトスピラ抗体価が2件で、いずれも不検出でした。保健所からは、レジオネラ属菌の依頼があり、1群が検出しました。

「小児科サーベイランス」ではA群溶血性レンサ球菌が4件検出しました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(6月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等		
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	5 <i>Enterobacter aerogenes</i> 、 <i>Enterobacter cloacae</i> 、 <i>Escherichia coli</i>		
		肺炎球菌	1 <i>Streptococcus pneumoniae</i> 型別不能		
	非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1 <i>Klebsiella pneumoniae</i>		
保健所		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	12 <i>Enterobacter aerogenes</i> 、 <i>Enterobacter cloacae</i> 、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> 、 <i>Serratia marcescens</i>		
		腸管出血性大腸菌	12 O26:H11 VT1、O157:H7 VT1VT2、 O157:H7 VT2		
		インフルエンザ菌	1 <i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能		
		肺炎球菌	2 <i>Streptococcus pneumoniae</i>		
		劇症型溶血性レンサ球菌	1 A群TB3264型		
		結核菌	47		
分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等	
医療機関	基幹定点	ボレリア	全血、血清、髄液	5	不検出
		マラリア	全血	1	不検出
		A群溶血性レンサ球菌、肺炎球菌	膿	2	A群溶血性レンサ球菌遺伝子陽性、肺炎球菌遺伝子陰性
	非定点	レプトスピラ抗体価	血清	2	不検出(国立感染症研究所)
保健所	レジオネラ属菌	喀痰	1	<i>Legionella pneumophila</i> 1群(培養法)	
小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等		
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	4	T4型、T12型、TB3264型		

【 微生物検査研究課 細菌担当 】